

### Ⅲ 研究の成果と課題

「気になる子」をテーマに研究を続けて10年余になろうとしている。それまでも「気になる子」がいなかったわけではない。学級担任として幼児とのかかわりは日々試行錯誤してきている。その体験の繰り返しを通して、個々の教師の中に、経験知として蓄積されている。「保育力」をアップするには、園内研修を通して個々の教師の経験知を共有していくことが大切である。

「保育」は「子どもを知る」事から始まる。しかし、昨年の反省である「子どもの心を読みすぎるな」「子どもの心の中に原因を求めない」が示すように、発達の見通しの中でその子の課題を把握し援助の方向を明確にすることが重要である。「援助の方向」について十分に協議することにより様々な指導方法が検討され柔軟な保育が可能となる。理解のための理解ではなく、保育をするための理解が重要なのである。

また、日々の保育で教師が見る「幼児の姿」は教師のかかわりの結果として見えるものである。教師がどのようにかかわった時にどのような姿が見られたのか、常に教師のかかわりとの関係でとらえることが大切である。例えば「〇〇に集まって」と指示しても行動に移さなかった幼児に対して「なかなか言うことを聞いてくれない」「指示の意味がわからない」「行動がマイペースでルーズだ」「夢中になると行動の切り替えができない」等様々なとらえができる。しかしある時「〇〇で待ち合わせしましょ」といったらにこにこして一目散にその場所へ飛んできたという。教師のかかわり方を変えると幼児の応答も変わる。教師はうまくやり取りができた場合の経験を増やしていくしかない。その蓄積が「保育力」となっていく。

しかし最近では個々の教師の「かかわり方の試行錯誤」を共有しただけではどうにも解決できないケースも出現している。発達相談機関の専門家のアドバイスが大変有効となる。幼児を理解する上だけではなく具体的な指導方法を構想する上でも大変有効である。発達障害の子どもにとってわかりやすく過ごしやすい環境は、大半の幼児にとっても同様の環境である場合が多い。教師にとって多様な指導方法を学ぶ絶好の機会であるともいえよう。

本年度（平成21年度）、宇都宮市では5歳児発達検診を行うようになった。本園の研究でもP3に示しているように年中組後半ぐらいに専門家の指導を受けるようにすることがその後の成長発達に有効であろうという見解が示されている。附属学校園に「四附特別支援教育推進委員会」が設立され、スクールカウンセラーも置かれ、宇都宮市発達センターとも連携し、支援体制が整いつつある。本園では全教員が特別支援教育コーディネーターであるといっても過言ではないほど日々研修を重ねてきている。

折りしも平成20年3月、幼稚園教育要領の改訂があった。幼児期の教育の重要性が社会的に理解され、教育基本法及び学校教育法に幼児期の教育が位置付けられた画期的な改定とも言える。一方、教育内容については改定はあったものの大幅な内容の変更はなかった。それはある意味、幼児期の教育内容についてはある程度成熟していると判断できるのではないか。それより注目すべきは「内容の取り扱い」がきめ細かくなった点である。教育内容は周知の通りだが、その内容を幼児が身に付けるには、教師のなお一層の指導力が必要であると理解できるからである。

「保育」という行為を通して、幼児の感性が開かれ、自己の世界が広がり、未来へ成長し続けることを支えていけるよう、私達教師は「保育力を磨く」ことを真剣に考えていきたいものである。

## 参考文献

世界保健機関（WHO）「ICF 国際生活機能分類」 中央法規（2002）

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「ICF 及び ICF-CY の活用」

ジアース教育新社（2007）

無籐 隆・神長美津子・拓植雅義・河村 久編著

LD・ADHD・高機能自閉症等の指導「気になる子」の保育と就学支援

東洋出版社（2005）

佐伯 胖 幼児教育へのいざない 東京大学出版会（2001）

秋田喜代美 知をそだてる保育 ひかりのくに株式会社（2000）

岩田 純一 子どもはどのようにして〈じぶん〉を発見するのか フレーベル館（2005）

小田 豊・榎沢良彦 編 新しい時代の幼児教育 有斐閣アルマ（2002）

今井 和子・神長美津子 「わたしの世界」から「わたしたちの世界」へ フレーベル（2003）

小田 豊・神長美津子 編著 3歳児保育のヒミツ 新しい保育の在り方

ひかりのくに（1995）

幼稚園じほう 第34巻 第9号 特集 幼稚園における特別支援教育（2006）

幼稚園じほう 第36巻 第5号 特集 幼児期における特別支援教育の在り方（2008）

児童心理 第61巻12号 特別支援教育「成功のカギ」（2007）

初等教育資料 通巻847号（2009）

奈良教育大学附属幼稚園 「ひとりひとりが輝く保育をめざして」

－特別な配慮を必要とする子どもへの教育的支援を考える－（2008）

北海道教育大学附属旭川幼稚園

特別なニーズを必要とする幼児の特性の応じた教育的支援を考える

－共に育ち合う幼児を求めて－（2009）